

経済建設分科会

決算7件・議案6件を審査

主な論点・疑問点等

決算第1号 平成27年度函館市一般会計 決算(経済建設分科会関係部分)

○薬用植物試験栽培研究費

- ・事業の取り組み経過
・事業の課題

主な理事者の説明

事業着手時点で、製薬メーカーから種子ではなく苗が提供されることになったため、委託料の設計金額が減額となったことや、製薬メーカーに支払われた薬用植物の対価を控除したことなどにより、最終的な委託料の額が減となったものである。

薬用植物のうちトウキについては、栽培に必要なノウハウを蓄積することができたほか、試験栽培研究に参画していただいた農業者と製薬メーカーとの契約栽培につなげることができたが、労力面での負担が大きく、このことが最大の課題であると考えている。

委員間の協議

トウキに限っては、その栽培のノウハウなり、薬品メーカーとの個人的な栽培契約もできているということが良いと思う。などの理由で賛成。

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成28年度函館市一般会計 補正予算(経済建設分科会関係部分)

○はこだて美食フェスタ開催経費

- ・「食の産業化」のイメージ
・狙いや考え方

・市が主催する理由

主な理事者の説明

函館の食の魅力を生かし、グルメの

まちを目指す「食の産業化」を図ることにより、「観光消費額」、「地場産品の消費拡大」、「雇用の増加」など、まちの活性化につながるものと考えており、まずは函館の良質な食材や食そのものに對する認識を深めてもらうため、市民を対象としたイベントを平成29年2月に函館アリーナにおいて開催しようとするものである。

既存の食に関するイベントなどとも連携 補完するなど、函館の食の魅力の底上げ、食の産業化に取り組みたい。

委員間の協議

目的、効果、妥当性について、概ね了解した。これまでの取り組みを踏まえ、食の産業化という視点でやっていきたいとのことで確認した。

内容が見えづらい段階ではあるが開催まで時間があるので、目的が達せられるようなイベント、事業にしていたきたい。などの理由で賛成。



民生分科会

決算7件・議案3件を審査

主な論点・疑問点等

決算第1号 平成27年度函館市一般会計 決算(民生分科会関係部分)

○ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置費

設置の効果について確認するため、緊急通報の使用件数と使用率、結果、大事に至らなかった件数について

主な理事者の説明

平成27年中の通報件数は全体で992件、利用率としては2台に1件となっており、そのうち、消防車や救急車が出動した件数は、火災が4件、救急が28件、救助が4件、警戒が71件の計307件となっている。

建物火災や、急病者の重症化・重篤化を未然に防いだケースも数多くあることから、当該システムの設置が、高齢者の安心・安全の確保に効果を持っているものと考えている。

委員間の協議

高齢者の命を守るため非常に重要なシステムである。

設置基準が85歳以上となっているが、年齢にかかわらず高齢者の実態にあわせて柔軟に対応してほしい。などの理由で賛成。

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成28年度函館市一般会計 補正予算(民生分科会関係部分)

○介護ロボット導入促進事業

・介護ロボットの内容等について

主な理事者の説明

本事業は、介護従事者の負担の軽減を図る取り組みが推進されるよう、事業者の負担が大きい移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援に使用する介護ロボットの導入を支援するため、介護事業者に対し、費用を補助するもので、財源については、全額国費である。

委員間の協議

介護ロボットの事業内容や効果、財源が全額国費であることが確認できた。などの理由で賛成。

9/14 ~ 16, 20 一般質問 18人が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。詳細は、12月上旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

高校生までの医療費無料化

市政クラブ 能登谷 公

質問 高校生まで医療費を無料化した場合の試算と財源について伺いたい。

答弁 高校生の医療費のほかに現制度の対象である中学生までの初診時一部負担金等の無料化も必要となり、平成27年度実績でいくと7億3,767万円から約3億円の増となり、増額分は全て一般財源での負担となる。

学校統合方針再考の可能性

民主・市民ネット 島 昌之

質問 保護者や地域の方を対象とした保護者等説明会で反対意見があった場合、再編案を考え直すことはあるのか。

答弁 保護者等説明会において大きな反対があった場合は、理解を得られたとは言えないことから、再度の説明など、時間をかけて理解を求めたい。

子どもの歯の健康を守るフッ化物洗口

公明党 松宮 健治

質問 むし歯予防対策として実施を検討しているとのことだが、どう実施するのか。

答弁 規模別に選定した小学校教員で、まず試行的に実施し、学校歯科医や保健所等の協力を得ながら実施運用上の課題等を把握し、安全かつ効果的に継続実施するための方法を検証したい。